

令和6年度 要保護児童対策地域協議会連携強化研修

【萩会場】 開催要項

1 目的

市町(地域)における児童虐待への対応能力の向上と要保護児童対策地域協議会の構成機関相互の連携強化の方法等について学ぶことを目的に、県内各圏域において本研修会を開催します。

要保護児童対策地域協議会を構成する機関等がどのように連携していくべきか、今一度考えてみませんか。本研修は、要対協の役割と実効性のある運用について学べる貴重な機会となっております。

2 実施主体

山口県

3 実施機関

社会福祉法人山口県社会福祉協議会

4 対象者

児童相談所、市町、警察、教育機関、医療機関など、要保護児童対策地域協議会の構成機関等において児童虐待対策に携わる職員

5 定員

30人程度

6 圏域、日程、演題・講師、会場

圏域	日時	時間	演題・講師	会場
萩会場 (萩児相管内)	7月11日 (木)	13:00～13:20	受付	県萩総合庁舎 会議室1 (萩市江向531-1)
		13:20～13:30	開講・オリエンテーション	
		13:30～16:30	【講義・演習】 「要対協の役割と実効性のある運用」 講師 社会福祉士、元日本社会事業大学専門職大学院 教授 <small>みやじま きよし</small> 宮島 清 氏	
		16:30～16:40	閉講・アンケート記入	

7 受講料

無料

8 申込手続

(1) 申込方法

ア 児童相談所職員及び県内市町児童虐待対策担当職員

「山口県社会福祉協議会 福祉研修センター」のHP (<https://yg-fkc.com/>) からマイページに

ログインし、該当研修の申込フォームからお申し込みください。

※ 事前に所属単位での登録が必要です。(既に登録されている場合は不要です。)

イ ア以外の職員

別紙「受講申込書」にてFAXでお申し込みください。

(2) 申込受付期間

令和6年6月6日(木)～6月27日(木)

※萩圏域以外の方の申し込みも受け付けます。

(3) 受講決定

ア 児童相談所職員及び県内市町児童虐待対策担当職員

受付期間終了後に(1)で登録されたアドレスにメールでお知らせします。

定員超過等でやむを得ずお断りする場合もメールでお知らせします。

なお、申込状況はマイページ内の「研修申込状況」で確認できます。

イ ア以外の方

定員超過等で受講をお断りする場合は、電話又はFAXで連絡します。

9 個人情報の取扱い

「申込フォーム」に記載された個人情報は、研修会の運営管理のみに使用します。

10 その他

(1) 自然災害等のやむを得ない事由により研修を開催できない場合は、前日の午後3時までに

HP(<https://yg-fkc.com>)に記載しますので、前日に必ずホームページを確認してください。

(2) 欠席される場合は、研修前日までに必ず連絡してください。

(3) 研修当日に、発熱や体調が悪い場合は、研修への参加を控えてください。

(4) 遅刻する場合は、速やかに連絡してください。

11 問合せ先

社会福祉法人山口県社会福祉協議会 福祉研修部(福祉研修センター)

担当 伊藤

〒754-0893 山口市秋穂二島1062 山口県セミナーパーク内

TEL 083-987-0123 FAX 083-987-0124



12 講師プロフィール

ふりがな 氏名	みやじま きよし 宮島 清	専門分野	子ども家庭福祉 ソーシャルワーク
現職名	日本社会事業大学専門職大学院客員教授、NPO 法人子ども家族いきいきプロジェクト代表理事、東松山市子育て支援課家庭児童相談員		
経歴等	<p>1981年3月明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業。同年4月～2003年3月まで埼玉県庁社会福祉職：知的障害児施設（児童指導員）、川越・熊谷・所沢児童相談所（児童福祉司、一時保護所児童指導員）、本庁児童福祉課等に勤務する。2005年4月～2022年3月日まで日本社会事業大学専門職大学院で助教授のち准教授のち教授（実務家教員）を務める。</p> <p>社会保障審議会児童部会委員（2023年3月まで）、同社会的養育専門委員会委員、同児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会委員、自治体（東京都、埼玉県、富山県など）に設置された審議会や検討委員会の委員などを歴任する。</p> <p>また、自治体の機関や児童福祉施設等でスーパー・ビジョンや子ども家庭福祉（児童虐待対応、養育に課題を抱えた家庭への支援、社会的養護など）に関する研修講師などの活動を続けている。（2022年度実績：長野県・宮城県・山梨県・板橋区児相、清瀬市子ども家庭支援センター、所沢市保健センター・教育センター、全国社会福祉協議会、子どもの虹研修情報センター、共生会希望の家、民間養子縁組あっせん機関など）</p>		
著書等	<ul style="list-style-type: none"> ・「第6章児童虐待」『社会福祉学習双書5 児童・家庭福祉』全社協 2023年2月 ・『ひと目でわかる保育者のための児童家庭福祉データブック 2023』中央法規（共編著）2022年12月 ・「社会的養護における子どもの権利擁護と児童相談所」『日本の児童相談所・子ども家庭支援の現在・過去・未来』川松他編著明石書店 2022年9月 pp45- 50 ・『最新社会福祉士養成講座3 児童・家庭福祉』中央法規（共編著）2021年2月・ ・「社会的養護・里親制度の観点から」ぎょうせい『法律のひろば 10月号 特集「児童虐待防止対策・体制と連携の強化にむけて」』2019年10月 ・『要保護児童対策調整機関専門職研修テキスト』『児童福祉司研修テキスト』（共編著）明石書店 2019年3月 ・『子どものための里親委託・養子縁組の支援』（共編著）明石書店 2017年12月 ・「日本における要保護児童施策の現状：現場での取組を踏まえて」社会保障・人口問・題研究所『社会保障研究第2巻第2・3号』2017年12月 ・「児童相談所と市区町村子ども家庭福祉担当部所のこれから・悲しみを幸せに変えるという使命をどう果たすか。」後藤・安田記念東京都市研究所『都市問題』2017年9月 ・社会的養護[第4版]（新・プリマーズ）小池・山縣編ミネルヴァ書房 2016年3月第12章から第15章までを分担執筆 ・『家族支援と子育て支援 ファミリーソーシャルワークの方法と実践』やさしくわかる社会的養護シリーズ5 明石書店 2013年（共編著） ・『社会的養護テキストシリーズ』福村出版 2011年（共編著）1巻『里親養育と里親支援ソーシャルワーク』、3巻『子ども虐待の理解・対応・ケア』 4巻『子ども家庭支援とソーシャルワーク』 ・『里親と子ども』第1号～10号 明石書店 6号以降（2011年～2015年）は編集委員会委員長、分担執筆 		